

KYB、「平成21年度 全国発明表彰」特許庁長官賞受賞

KYBIは、(社)発明協会が主催する「平成21年度 全国発明表彰」で、共同開発者である(財)鉄道総合技術研究所殿と一緒に「特許庁長官賞」と「発明実施功績賞」を受賞いたしました。

「特許庁長官賞」受賞内容

- ・テーマ：「鉄道車両用セミアクティブ制振装置の発明」
- ・内容：高速鉄道車両の300km/h走行実現には、高速化により車両の左右振動増大に伴う乗り心地悪化の問題解消が大きな課題となっていた。
本装置は、高速車両の乗り心地の大幅改善を可能とした世界初の実用制振制御システムである。
本システムは、車両振動速度に比例して制御力を発生する「スカイフック制御」を用い、台車と車体との間に取り付け抵抗を変化させる「可変減衰ダンパ」、車体の加速度を検出する加速度センサおよび制御装置から構成される。
なお、本システムは、万一故障した場合でも通常のダンパとして作動し、鉄道車両に求められている高い安全性要求を満たしている。

「発明実施功績賞」

- ・受賞者： 社長 山本悟が受賞しました。

尚、「全国発明表彰」は、日本の科学技術の向上と産業の振興に寄与した発明者、実施に尽力をした人、発明の指導・奨励・育成に貢献した人に贈られる賞です。

